

# Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x (Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ) リリースノート

初版 : 2021 年 8 月 2 日

最終更新 : 2023 年 10 月 27 日

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x (Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ) リリースノート

### はじめに

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ は、シスコの最先端の次世代エンタープライズ向けスタックブルアクセスプラットフォームであり、セキュリティ、IoT、モビリティ、クラウドの新たなトレンドに対応する目的で構築されたものです。

これらのスイッチは、ASICアーキテクチャの観点において、Unified Access Data Plane (UADP) 2.0 を通じて他の Cisco Catalyst 9000 シリーズ スイッチとの完全なコンバージェンスを実現します。モデル駆動型プログラマビリティをサポートするオープンな Cisco IOS XE 上で稼働するこのプラットフォームは、コンテナをホストする性能を備え、サードパーティ製アプリケーションやスクリプトをスイッチ内でネイティブに実行します (x86 CPU アーキテクチャ、ローカルストレージ、高いメモリフットプリントを利用)。シスコの主要なエンタープライズアーキテクチャである SD-Access の基本的な構成要素としても機能します。

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6a の新機能

このリリースに新機能はありません。このリリースでは、[CSCwh87343](#) : Cisco IOS XE ソフトウェアの Web UI における特権昇格の脆弱性が修正されています。詳細については、「Security Advisory: [cisco-sa-iosxe-webui-privesc-j22SaA4z](#)」を参照してください。

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6 の新機能

#### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.5 の新機能

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.5 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.5 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 の新機能

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 のハードウェア機能

このリリースではハードウェア機能はありません。

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.3 の新機能

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.3 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.3 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2 の新機能

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2 のハードウェア機能

機能名	説明とドキュメントのリンク
Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ (C9300X)	<p data-bbox="982 499 1511 562">このシリーズでは、次の新しいモデルが導入されています。</p> <ul data-bbox="1015 590 1511 1066" style="list-style-type: none"><li data-bbox="1015 590 1511 835">• C9300X-48HX : スタックابلな 48 個のマルチギガビット イーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE+ ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 590 W、StackPower+、StackWise-1T、および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポート。</li><li data-bbox="1015 863 1511 1066">• C9300X-48TX : スタックابلな 48 個のマルチギガビット イーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) ポート、715WAC 電源、StackPower+、StackWise-1T、および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポート。</li></ul> <p data-bbox="982 1108 1511 1245">設置および技術仕様を含むハードウェアの詳細については、『<a href="#">Cisco Catalyst 9300 Series Switches Hardware Installation Guide</a>』を参照してください。</p> <p data-bbox="982 1272 1511 1402">ソフトウェアの詳細については、「<a href="#">Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x (Catalyst 9300 スイッチ) ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド</a>」を参照してください。</p>

機能名	説明とドキュメントのリンク
Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ (C9300X) : アップリンク ネットワーク モジュール	<p>このシリーズでは、次の新しいモデルが導入されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• C9300X-NM-4C : このモジュールには 4 つの 40 GE/100 GE スロットがあり、各スロットに QSFP+ コネクタがあります。</li> </ul> <p>(注) C9300X ネットワークモジュールは C9300X スイッチでのみサポートされます。</p> <p>設置および技術仕様を含むハードウェアの詳細については、『<a href="#">Cisco Catalyst 9300 Series Switches Hardware Installation Guide</a>』を参照してください。</p> <p>ソフトウェアの詳細については、『<a href="#">Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x (Catalyst 9300 スイッチ) ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド</a>』を参照してください。</p>

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2 のソフトウェア機能

機能名	説明およびライセンスレベル情報
L3 TRM のデータ MDT サポート	<p>レイヤ 3 テナント ルーテッド マルチキャスト (TRM) のデータマルチキャスト配信ツリー (MDT) のサポートを導入します。データ MDT は、MVPN および EVPN コアで最適化された転送を提供するために設計されたアンダーレイ MDT です。</p> <p>「BGP EVPN VXLAN」 → 「<a href="#">テナントルーテッドマルチキャストの設定</a>」を参照してください。</p> <p>(Network Advantage)</p>

機能名	説明およびライセンスレベル情報
高セキュリティのための輸出管理キー (HSECK9)	<p>Cisco Catalyst 9300X シリーズ スイッチでの HSECK9 キーのサポートを導入します。</p> <p>HSECK9 キーは、米国輸出管理法で制限されている暗号化機能の使用を許可する、輸出規制対象ライセンスです。制限付き暗号化機能を使用する場合は、HSECK9 キーが必要です。</p> <p>現在、HSECK9 キーを必要とする暗号化機能のリストには、IPsec 機能のみが含まれています。</p> <p>暗号化機能を設定して使用する UDI ごとに、HSECK9 キーが必要です。スマートライセンス承認コード (SLAC) は使用する HSECK9 キーごとにインストールする必要があります。</p> <p>「System Management」 → 「<a href="#">Available Licenses</a>」 および 「<a href="#">Smart Licensing Using Policy</a>」 を参照してください。</p> <p>(DNA Advantage)</p>

機能名	説明およびライセンスレベル情報
<p>IPSec</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPSec 仮想トンネルインターフェイス</li> <li>• 「IPsec Dead Peer Detection Periodic Message Option」</li> <li>• IPSec アンチリプレイウィンドウ</li> <li>• 「Encrypted Preshared Key」</li> <li>• IPSec VPN 向け IKE</li> <li>• IKEv2 プロポーザルのトランスフォームセット</li> </ul>	<p>IPsec は、インターネット技術特別調査委員会によって開発されたオープン規格のフレームワークです。インターネットなどの保護されていないネットワークを介して機密情報を伝達する場合にセキュリティを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPSec 仮想トンネルインターフェイス：IPsec トンネルを終了するためのルーティング可能なインターフェイスタイプが提供され、オーバーレイネットワークを形成するためのサイト間の保護を簡単に定義できます。</li> <li>• IPSec デッドピア検出定期メッセージオプション：デバイスを、そのインターネットキーエクスチェンジ (IKE) ピアの活性を定期的に照会するように設定できます。</li> <li>• IPSec アンチリプレイウィンドウ：暗号化されたパケットを複製する攻撃者に対するアンチリプレイ保護のウィンドウサイズの設定を有効にします。デフォルトのウィンドウサイズは64パケットです。64パケットのウィンドウサイズのみがサポートされます。</li> <li>• 暗号化事前共有キー：プレーンテキストのパスワードをタイプ6 (暗号化) 形式で NVRAM に安全に保管できます。</li> <li>• IPSec VPN 用 IKE：基本的な IP Security (IPsec) バーチャルプライベートネットワーク (VPN) 用のインターネットキーエクスチェンジ (IKE) プロトコルを設定できます。IKE とは、IPsec 標準とともに使用されるキー管理プロトコル標準です。</li> <li>• IKEv2 プロポーザルのトランスフォームセット：IKEV2 プロポーザルのトランスフォームセットを設定できます。トランスフォームセットは、特定のセキュリティプロトコルとアルゴリズムを組み合わせたものです。IPsec SA のネゴシエーション中に、ピアは、特定のトランスフォームセットを使用して特定のデータフローを保護することに合意します。</li> </ul> <p>(HSECK9 キーが有効になっている Cisco DNA Advantage)</p>
<p>高速スタッキング</p>	<p>高速スタッキング機能を使用すると、同種のスイッチスタックを1Tbpsの速度で動作するように設定できます。</p> <p>この機能は、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの C9300X-48HX および C9300X-48TX モデルでサポートされています。</p>

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 の新機能

### Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 のハードウェア機能

機能名	説明とドキュメントのリンク
Cisco 10GBASE SFP+ モジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポート対象トランシーバモジュールの製品番号：SFP-10G-T-X</li> <li>互換性のあるスイッチモデル：C9300X-12Y、C9300X-24Y</li> </ul> <p>このモデルを使用する前に、<a href="#">制限事項と制約事項 (51 ページ)</a> → 「ハードウェアの制限事項：光モジュール」を参照してください。</p> <p>モジュールについては、『<a href="#">Cisco 10GBASE SFP+ Modules Data Sheet</a>』を参照してください。デバイスの互換性については、『<a href="#">Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix</a>』を参照してください。</p>
Cisco QSFP to SFP/SFP+ Adapter (QSA) モジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされているアダプタモジュール製品番号：CVR-QSFP-SFP10G</li> </ul> <p>このモジュールは、QSFP ポートを SFP または SFP+ ポートに変換することにより、Quad Small Form-Factor Pluggable (QSFP) 専用プラットフォームに 10 ギガビットイーサネットおよび 1 ギガビットイーサネット接続を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互換性のあるスイッチモデル：C9300X のすべての SKU</li> <li>互換性のあるネットワークモジュール：C9300X SKU でサポートされているすべてのネットワークモジュール。</li> </ul> <p>モジュールについては、『<a href="#">Cisco 40GBASE QSFP Modules Data Sheet</a>』を参照してください。デバイスの互換性については、『<a href="#">Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix</a>』を参照してください。</p>
Cisco QSA モジュール CVR-QSFP-SFP10G の直接接続ケーブル	<p>サポート対象ケーブルの製品番号：SFP-H10GB-CU4M</p> <p>これらのケーブルの詳細については、『<a href="#">Cisco 10GBASE SFP+ Modules Data Sheet</a>』を参照してください。デバイスの互換性については、『<a href="#">Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix</a>』を参照してください。</p>

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 のソフトウェア機能

機能名	説明およびライセンスレベル情報
SDA ファブリック上の IEEE 1588v2 PTP 高精度時間プロトコル (PTP)	マルチキャストプロトコルを使用して、ソフトウェアデファインドアクセス (SDA) ファブリックでオーバーレイを介して、レイヤー 2 およびレイヤー 3 形式の PTP メッセージをユーザーが送信できるようにします。  (DNA Advantage)
IEEE 1588v2PTP と MACsec および EtherChannel との相互運用性	MACsec および EtherChannel インターフェイスを使用した PTP のサポートを導入します。  (DNA Advantage)
IPv6 明示的なヌルラベル	IPv6 明示的なヌルラベルを VPN ラベルとして使用して、MPLS コアを介して IPv6 到達可能性情報を交換できます。ラベルの値は 2 です。  (Network Advantage)
EoMPLS を介した LACP および PAGP	ポートモードの Ethernet-over-MPLS 疑似回線を介した、Link Aggregation Control Protocol (LACP) および Port Aggregation Protocol (PAgP) パケットの転送を可能にします。  (Network Advantage)
VPLS を介した MLD スヌーピング	仮想プライベート LAN サービス (VPLS) を介したマルチキャストリスナー検出 (MLD) スヌーピングのサポートを導入します。この機能により、Internet Group Management Protocol (IGMP) または MLD レポートをリモートプロバイダーエッジ (PE) デバイスから受信する疑似配線を介して、トラフィックを転送できます。  (Network Advantage)

機能名	説明およびライセンスレベル情報
<p>MPLS トラフィック エンジニアリング</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• IP 明示アドレス除外</li><li>• LSP 属性</li><li>• バンドルされたインターフェイス</li><li>• トンネルの設定可能なパス計算メトリック</li></ul>	<p>マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング (TE) は、レイヤー2の機能をレイヤー3に組み込むことにより、トラフィック エンジニアリングに対する統合アプローチを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• IP 明示アドレス除外：MPLS TE ラベルスイッチドパス (LSP) のパスからリンクまたはノードを除外する手段を提供します。</li><li>• LSP 属性：LSP 属性リスト機能と帯域幅上書きのパスオプション機能を提供します。</li><li>• バンドルインターフェイス：バンドルインターフェイス、EtherChannel、および Gigabit EtherChannel を介して MPLS トラフィック エンジニアリング トンネルを有効にします。</li><li>• トンネルの設定可能パス計算メトリック：トラフィック エンジニアリング トンネルのパス計算で使用されるメトリックのトンネル単位の制御を可能にします。</li></ul> <p>(Network Advantage)</p>

機能名	説明およびライセンスレベル情報
<p>プログラマビリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前面パネルアプリケーションホスティング</li> <li>• ThousandEyes BrowserBot</li> <li>• ThousandEyes Enterprise Agent</li> <li>• ゲストシェルからの NETCONF アクセス</li> <li>• YANG データ モデル</li> </ul>	<p>このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントパネルアプリケーションホスティング：Catalyst9300X シリーズ スイッチで2つのアプリケーションホスティングポートのサポートを導入します。<b>app-vnic AppGigabitEthernet port</b> コマンドを使用して、アプリケーションホスティングに使用するポートを指定します。 この機能は、Cisco Catalyst 9300X シリーズ スイッチでのみサポートされます。 (Network Essentials および Network Advantage)</li> <li>• ThousandEyes BrowserBot：トランザクションスクリプトテストのために、ThousandEyes EnterpriseAgent で BrowserBot のサポートを導入します。BrowserBot を使用すると、ThousandEyes クラウドポータルでの Web ブラウザのアクションを模倣するカスタマイズされた JavaScript テストを有効にできます。 (Network Essentials および Network Advantage)</li> <li>• ThousandEyes エンタープライズエージェント：ThousandEyes は、クラウド対応のエンタープライズネットワーク監視ツールであり、ネットワークとサービス全体のエンドツーエンドのビューを提供します。 この機能は、Cisco Catalyst 9300X シリーズ スイッチでのみサポートされます。 (DNA Advantage)</li> <li>• ゲストシェルからの NETCONF アクセス：ゲストシェル内から NETCONF にアクセスして、Python スクリプトを実行し、NETCONF プロトコルを使用してシスコカスタムパッケージ CLI を呼び出すためのサポートを導入します。 (DNA Essentials および DNA Advantage)</li> <li>• YANG データモデル：このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、<a href="https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1761">https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1761</a> を参照してください。 YANG ファイルに埋め込まれているリビジョンステートメントは、モデルのリビジョンがあるかどうかを示します。同じ GitHub の場所にある README.md ファイルに、このリリースに加えられた変更がまとめられています。</li> </ul>
<p>同じトンネル上の RadSec CoA</p>	<p>同じ認証チャンネル上での RadSec 認可変更 (CoA) 要求の受信と CoA 応答の送信のサポートを導入します。</p> <p>(Network Essentials および Network Advantage)</p>

機能名	説明およびライセンスレベル情報
大きな RTT のシナリオでの SCP の改善	<b>ip ssh bulk-mode</b> コマンドの <b>window-sizevariable</b> オプションを使用して、大きなラウンドトリップ時間 (RTT) 設定でのセキュアコピー (SCP) のサポートを導入します。  (Network Essentials および Network Advantage)
WCCP - VRF のサポート	Web Cache Communication Protocol (WCCP) を使用した仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のサポートを導入します。  (Network Advantage)
VRRPv3 の SSO サポート	Virtual Router Redundancy Protocol バージョン 3 (VRRPv3) によるステートフル スイッチオーバー (SSO) のサポートを導入します。この機能を有効にするには、 <b>fhrp sso</b> コマンドを使用します。  (Network Essentials および Network Advantage)

#### WebUI の新機能

OSPFv3 の BFD エコーモード	インターフェイス、データリンク、および転送プレーンを含めて、2つの隣接スイッチ間の障害を検出するメカニズムを提供します。この機能は、グローバルに、またはインターフェイスごとに設定できます。
SDM テンプレート	デバイス上の物理リソースの使用を最適化するのに役立つデバイス固有のカスタム SDM テンプレートを導入します。

#### 有用性

<b>show consistency-checker</b>	コマンドが変更されました。次のキーワードが導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>mcast</b> : マルチキャスト転送テーブルで <b>consistency-checker</b> を実行します</li> <li>• <b>objects</b> : オブジェクトで <b>consistency-checker</b> を実行します</li> <li>• <b>run-id</b> : 実行 ID ごとに <b>consistency-checker</b> を実行します</li> </ul>
<b>show platform software fed switch punt packet-capture cpu-top-talker</b>	コマンドが変更されました。 <b>cpu-top-talker</b> キーワードが導入されました。パケットキャプチャの属性の発生回数を表示します。
<b>match device-type regex regular-expression</b>	コマンドが変更されました。 <b>regex</b> キーワードが導入されました。デバイスタイプの正規表現を定義できます。
<b>protocol tlv-type number value {string   integer   {regex regular-expression}}</b>	コマンドが変更されました。 <b>regex</b> キーワードが導入されました。Type-Length-Value (TLV) の正規表現を定義できます。

## 特記事項

- サポートされない機能 (12 ページ)
- サポートされる機能の全リスト (12 ページ)
- 隠しコマンドへのアクセス (12 ページ)
- デフォルトの動作 (13 ページ)

### サポートされない機能

- Cisco TrustSec ネットワーク デバイス アドミッション コントロール (NDAC) (アプリケーション)
- ブランチ展開のための統合アクセス
- IPsec VPN
- パフォーマンスモニタリング (PerfMon)
- 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 対応 Web 認証

### サポートされる機能の全リスト

プラットフォームでサポートされている機能の完全なリストについては、<https://cfngng.cisco.com> で Cisco Feature Navigator を参照してください。

### 隠しコマンドへのアクセス

Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a 以降では、セキュリティ対策の強化として、隠しコマンドにアクセスする方法が変更されています。

隠しコマンドは Cisco IOS XE に以前からありましたが、CLI ヘルプは用意されていませんでした。つまり、システムプロンプトで疑問符 (?) を入力しても、使用できるコマンドの一覧は表示されません。これらのコマンドは、Cisco TAC による高度なトラブルシューティングでの使用のみを目的としており、文書化もされていませんでした。

Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a より、隠しコマンドは次のカテゴリで使用できます。

- カテゴリ 1：特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードの隠しコマンド。これらのコマンドにアクセスするには、最初に **service internal** コマンドを入力します。
- カテゴリ 2：いずれかのコンフィギュレーションモード（グローバルやインターフェイスなど）の隠しコマンド。これらのコマンドについては、**service internal** コマンドは必要ありません。

さらに、カテゴリ 1 および 2 の隠しコマンドには以下が適用されます。

- コマンドの CLI ヘルプがあります。システムプロンプトで疑問符 (?) を入力すると、使用できるコマンドの一覧が表示されます。

注：カテゴリ 1 では、疑問符を入力する前に **service internal** コマンドを入力します。これは、カテゴリ 2 では必要ありません。

- 隠しコマンドを使用すると、%PARSER-5-HIDDEN syslog メッセージが生成されます。次に例を示します。

```
*Feb 14 10:44:37.917: %PARSER-5-HIDDEN: Warning!!! 'show processes memory old-header' is a hidden command.
Use of this command is not recommended/supported and will be removed in future.
```

カテゴリ 1 および 2 以外の内部コマンドは CLI に表示されます。それらのコマンドについては、%PARSER-5-HIDDEN syslog メッセージは生成されません。



**重要** 隠しコマンドは TAC からの指示の下でのみ使用することを推奨します。

隠しコマンドの使用が見つかった場合は、TAC ケースを開き、隠しコマンドと同じ情報を収集する別の方法（EXEC モードの隠しコマンドの場合）、隠しコマンド以外を使用して同じ機能を設定する方法（コンフィギュレーションモードの隠しコマンドの場合）を探してください。

#### デフォルトの動作

Cisco IOS XE Gibraltar 16.12.5 以降では、IP パケットの Do not fragment ビット（DF ビット）は、すべての発信 RADIUS パケット（デバイスから RADIUS サーバーに向かうパケット）に対して常に 0 に設定されます。

## サポート対象ハードウェア

### Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ：モデル番号

次の表に、サポートされているハードウェアモデルと、それらのモデルに提供されるデフォルトのライセンスレベルを示します。使用可能なライセンスレベルの詳細については、「ライセンスレベル」のセクションを参照してください。

表 1: Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>1</sup>	説明
C9300-24H-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個の 10/100/1000 Mbps UPOE+ ポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 830 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24H-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>1</sup>	説明
C9300-24P-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個の 10/100/1000 PoE+ ポート、PoE バジレット 437W、715 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24P-E	Network Essentials	
C9300-24S-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個の 1G SFP ポート、715 WAC 電源がデフォルトで搭載されている 2 個の電源スロット、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24S-E	Network Essentials	
C9300-24T-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個の 10/100/1000 イーサネットポート、350 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24T-E	Network Essentials	
C9300-24U-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個の 10/100/1000 UPoE ポート、PoE バジレット 830W、1100 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24U-E	Network Essentials	
C9300-24UB-A	Network Advantage	ディープバッファと高い拡張性を備えたスタックابلな 24 個の 10/100/1000 Mbps UPOE ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 830W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24UB-E	Network Essentials	
C9300-24UX-A	Network Advantage	スタックابلな 24 個のマルチギガビット イーサネット 100/1000/2500/5000/10000 UPoE ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 490 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24UX-E	Network Essentials	
C9300-24UXB-A	Network Advantage	ディープバッファと高い拡張性を備えたスタックابلな 24 個のマルチギガビット イーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 560 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-24UXB-E	Network Essentials	
C9300-48H-A	Network Advantage	スタックابلな 48 個の 10/100/1000 Mbps UPOE+ ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 822 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48H-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>1</sup>	説明
C9300-48T-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個の 10/100/1000 イーサネットポート、350 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48T-E	Network Essentials	
C9300-48P-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個の 10/100/1000 PoE+ ポート、PoE バジレット 437W、715 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48P-E	Network Essentials	
C9300-48S-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個の 1G SFP ポート、715 WAC 電源がデフォルトで搭載されている 2 個の電源スロット、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48S-E	Network Essentials	
C9300-48T-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個の 10/100/1000 イーサネットポート、350 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48T-E	Network Essentials	
C9300-48U-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個の 10/100/1000 UPoE ポート、PoE バジレット 822 W、1100 WAC 電源、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48U-E	Network Essentials	
C9300-48UB-A	Network Advantage	ディープバッファと高い拡張性を備えたスタッカブルな 48 個の 10/100/1000 Mbps UPOE ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 822 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48UB-E	Network Essentials	
C9300-48UN-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個のマルチギガビット イーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5 Gbps) UPoE ポート、1100 WAC 電源での PoE バジレット 610 W、StackWise-480 および StackPower をサポート。
C9300-48UN-E	Network Essentials	
C9300-48UXM-A	Network Advantage	スタッカブルな 48 個のポート (36 個の 2.5G マルチギガビット イーサネット ポートおよび 12 個の 10G マルチギガビット イーサネット Universal Power Over Ethernet (UPOE) ポート)
C9300-48UXM-E	Network Essentials	

<sup>1</sup> 注文可能なアドオンライセンスの詳細については、このドキュメントの「ライセンス」→「表 : 許可されている組み合わせ」を参照してください。

表 2: Cisco Catalyst 9300L シリーズ スイッチ

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>2</sup>	説明
C9300L-24T-4G-A	Network Advantage	スタックアップブルな 24 個の 10/100/1000M イーサネットポート、4 個の 1G SFP 固定アップリンクポート、350 WAC 電源、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24T-4G-E	Network Essentials	
C9300L-24P-4G-A	Network Advantage	スタックアップブルな 24 個の 10/100/1000M PoE+ ポート、4 個の 1G SFP 固定アップリンクポート、715 WAC 電源での PoE バジレット 505W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24P-4G-E	Network Essentials	
C9300L-24T-4X-A	Network Advantage	スタックアップブルな 24 個の 10/100/1000M イーサネットポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、350 WAC 電源、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24T-4X-E	Network Essentials	
C9300L-24P-4X-A	Network Advantage	スタックアップブルな 24 個の 10/100/1000M PoE+ ポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、715 WAC 電源での PoE バジレット 505W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24P-4X-E	Network Essentials	
C9300L-48T-4G-A	Network Advantage	スタックアップブルな 48 個の 10/100/1000M イーサネットポート、4 個の 1G SFP 固定アップリンクポート、350 WAC 電源、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48T-4G-E	Network Essentials	
C9300L-48P-4G-A	Network Advantage	スタックアップブルな 48 個の 10/100/1000M PoE+ ポート、4 個の 1G SFP 固定アップリンクポート、715 WAC 電源での PoE バジレット 505W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48P-4G-E	Network Essentials	
C9300L-48T-4X-A	Network Advantage	スタックアップブルな 48 個の 10/100/1000M イーサネットポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、350 WAC 電源、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48T-4X-E	Network Essentials	
C9300L-48P-4X-A	Network Advantage	スタックアップブルな 48 個の 10/100/1000M PoE+ ポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、715 WAC 電源での PoE バジレット 505W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48P-4X-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>2</sup>	説明
C9300L-48PF-4G-A	Network Advantage	スタックカブルな 48 個の 10/100/1000 Mbps PoE+ ポート、4 個の 1G SFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 890 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48PF-4G-E	Network Essentials	
C9300L-48PF-4X-A	Network Advantage	スタックカブルな 48 個の 10/100/1000 Mbps PoE+ ポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 890 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48PF-4X-E	Network Essentials	
C9300L-24UXG-4X-A	Network Advantage	スタックカブルな 16 個の 10/100/1000 Mbps ポートおよび 8 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE ポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 880 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24UXG-4X-E	Network Essentials	
C9300L-24UXG-2Q-A	Network Advantage	スタックカブルな 16 個の 10/100/1000 Mbps ポートおよび 8 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE ポート、2 個の 40G QSFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 722 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-24UXG-2Q-E	Network Essentials	
C9300L-48UXG-4X-A	Network Advantage	スタックカブルな 36 個の 10/100/1000 Mbps ポートおよび 12 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE ポート、4 個の 10G SFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 675 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48UXG-4X-E	Network Essentials	
C9300L-48UXG-2Q-A	Network Advantage	スタックカブルな 36 個の 10/100/1000 Mbps ポートおよび 12 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE ポート、2 個の 40G QSFP+ 固定アップリンクポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 675 W、StackWise-320 をサポート。
C9300L-48UXG-2Q-E	Network Essentials	

<sup>2</sup> 注文可能なアドオンライセンスの詳細については、このドキュメントの「ライセンス」→「表：許可されている組み合わせ」を参照してください。

表 3: Cisco Catalyst 9300X シリーズ スイッチ

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>3</sup>	説明
C9300X-12Y-A	Network Advantage	スタックカブル 12 1/10/25 GE SFP28 ダウンリンクポート、715 WAC 電源。StackPower+、StackWise-1T および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポートします。
C9300X-12Y-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル <sup>3</sup>	説明
C9300X-24Y-A	Network Advantage	スタックابل 24 1/10/25 GE SFP28 ダウンリンクポート、715 WAC 電源。StackPower+、StackWise-1 および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポートします。
C9300X-24Y-E	Network Essentials	
C9300X-48HX-A	Network Advantage	スタックابلな 48 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) UPOE+ ポート、1100 WAC 電源での PoE バジェット 590W、StackPower+、StackWise-1T、および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポート。
C9300X-48HX-E	Network Essentials	
C9300X-48TX-A	Network Advantage	スタックابلな 48 個のマルチギガビットイーサネット (100 Mbps または 1/2.5/5/10 Gbps) ポート、715WAC 電源、StackPower+、StackWise-1T、および C9300X-NM ネットワークモジュールをサポート。
C9300X-48TX-E	Network Essentials	

<sup>3</sup> 注文可能なアドオンライセンスの詳細については、このドキュメントの「ライセンス」→「表：許可されている組み合わせ」を参照してください。

## ネットワーク モジュール

次の表に、1 ギガビット、10 ギガビット、25 ギガビット、40 ギガビットの各スロットを備えた、オプションのアップリンク ネットワーク モジュールを示します。スイッチは、必ずネットワークモジュールまたはブランクモジュールのいずれかを取り付けて運用する必要があります。

ネットワークモジュール	説明
C3850-NM-4-1G <sup>1</sup>	1 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 4
C3850-NM-2-10G <sup>1</sup>	10 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 2
C3850-NM-4-10G <sup>1</sup>	10 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 4
C3850-NM-8-10G <sup>1</sup>	10 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 8
C3850-NM-2-40G <sup>1</sup>	40 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 2
C9300-NM-4G <sup>2</sup>	1 ギガビットイーサネット SFP モジュールスロット X 4
C9300-NM-4M <sup>2</sup>	マルチギガビット イーサネット スロット X 4

ネットワークモジュール	説明
C9300-NM-8X <sup>2</sup>	10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュールスロット X 8
C9300-NM-2Q <sup>2</sup>	40 ギガビットイーサネット QSFP+ モジュールスロット X 2
C9300-NM-2Y <sup>2</sup>	25 ギガビットイーサネット SFP28 モジュールスロット X 2
C9300X-NM-2C <sup>3</sup>	40 ギガビットイーサネット/100 ギガビットイーサネット QSFP+ モジュールスロット X 2
C9300X-NM-4C <sup>3</sup>	各スロットに QSFP+ コネクタを備えた 40 ギガビットイーサネット/100 ギガビットイーサネット スロット X 4
C9300X-NM-8M <sup>3</sup>	マルチギガビットイーサネット スロット X 8
C9300X-NM-8Y <sup>3</sup>	25 ギガビットイーサネット/10 ギガビットイーサネット/1 ギガビットイーサネット SFP+ モジュールスロット X 8



- (注)
- これらのネットワークモジュールは、Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチの C3850 SKU と Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの C9300 SKU でのみサポートされています。
  - これらのネットワークモジュールは、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの C9300 SKU でのみサポートされています。
  - これらのネットワークモジュールは、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの C9300X SKU でのみサポートされています。

## 光モジュール

Cisco Catalyst シリーズ スイッチではさまざまな光モジュールがサポートされており、サポートされる光モジュールのリストは定期的に更新されています。最新のトランシーバモジュールの互換性情報については、[Transceiver Module Group \(TMG\) Compatibility Matrix](https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html) ツールを使用するか、次の URL にある表を参照してください。[https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products\\_device\\_support\\_tables\\_list.html](https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html)

## 互換性マトリックス

次の表に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ、Cisco Identity Services Engine、Cisco Access Control Server、および Cisco Prime Infrastructure 間のソフトウェア互換性情報を示します。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Bengaluru 17.6.6a	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.6.6	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.6.5	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.6.4	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.6.3	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Bengaluru 17.6.2	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.6.1	3.1 3.0 最新パッチ 2.7 最新パッチ 2.6 最新パッチ 2.4 最新パッチ	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.5.1	3.0 パッチ 1 2.7 パッチ 2 2.6 パッチ 7 2.4 パッチ 13	-	C9300、C9300L および C9300X : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Bengaluru 17.4.1	3.0 2.7 パッチ 2	-	C9300 および C9300L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.8a	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.8	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Amsterdam 17.3.7	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.6	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.10 + PI 3.10 最新のメンテナンスリリース + PI 3.10 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.10</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.5	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.4	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.3	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.2a	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.8</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.3.1	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.8</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Amsterdam 17.2.1	2.7	-	C9300 および C9300L : PI 3.7+PI 3.7 最新のメンテナンスリリース + PI 3.7 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.7</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Amsterdam 17.1.1	2.7	-	C9300 : PI 3.6 + PI 3.6 最新のメンテナンスリリース + PI 3.6 最新のデバイスパック C9300L : -  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.6</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.8	2.6	-	C9300 : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック C9300L : -  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.7	2.6	-	C9300 : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック C9300L : -  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.6	2.6	-	C9300 : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック C9300L : -  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Gibraltar 16.12.5b	2.6	-	C9300 : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.5	2.6	-	C9300 : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.4	2.6	-	C9300 : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.8</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.3a	2.6	-	C9300 : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.5</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.3	2.6	-	C9300 : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.5</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Gibraltar 16.12.2	2.6	-	C9300 : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.5</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.1	2.6	-	C9300 : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック C9300L : - 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.5</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.11.1	2.6 2.4 パッチ 5	5.4 5.5	PI 3.4 + PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.10.1	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4 + PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.8	2.5 2.1	5.4 5.5	PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.7	2.5 2.1	5.4 5.5	PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.9</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Fuji 16.9.6	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.5	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.4	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.3	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.2	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.1	2.3 パッチ 1 2.4 パッチ 1	5.4 5.5	PI 3.4+PI 3.4 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.4</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.8.1a	2.3 パッチ 1 2.4	5.4 5.5	PI 3.3+PI 3.3 最新のメンテナンスリリース + PI 3.3 最新のデバイスパック  「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.3</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。

Catalyst 9300	Cisco Identity Services Engine	Cisco Access Control Server	Cisco Prime Infrastructure
Everest 16.6.4a	2.2 2.3	5.4 5.5	PI 3.1.6 + デバイスパック 13 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.1</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Everest 16.6.4	2.2 2.3	5.4 5.5	PI 3.1.6 + デバイスパック 13 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.1</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Everest 16.6.3	2.2 2.3	5.4 5.5	PI 3.1.6 + デバイスパック 13 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.1</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Everest 16.6.2	2.2 2.3	5.4 5.5	PI 3.1.6 + デバイスパック 13 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.1</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Everest 16.6.1	2.2	5.4 5.5	PI 3.1.6 + デバイスパック 13 「 <a href="#">Cisco Prime Infrastructure 3.1</a> 」 → 「Downloads」を参照してください。
Everest 16.5.1a	2.1 パッチ 3	5.4 5.5	-

## Web UI のシステム要件

次のサブセクションには、Web UI へのアクセスに必要なハードウェアとソフトウェアがリストされています。

### 最小ハードウェア要件

プロセッサ速度	DRAM	色数	解像度	フォントサイズ
233 MHz 以上 <sup>4</sup>	512 MB <sup>5</sup>	256	1280 x 800 以上	小

<sup>4</sup> 1 GHz を推奨

<sup>5</sup> 1 GB DRAM を推奨

### ソフトウェア要件

#### オペレーティング システム

- Windows 10 以降

- Mac OS X 10.9.5 以降

#### ブラウザ

- Google Chrome : バージョン 59 以降 (Windows および Mac)
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox : バージョン 54 以降 (Windows および Mac)
- Safari : バージョン 10 以降 (Mac)

## ROMMON バージョン

ROMMON はブートローダーとも呼ばれ、デバイスの電源投入またはリセット時に実行されるファームウェアです。プロセッサハードウェアを初期化し、オペレーティングシステムソフトウェア (Cisco IOS XE ソフトウェアイメージ) を起動します。ROMMON は、スイッチ上の次のシリアルペリフェラルインターフェイス (SPI) フラッシュデバイスに保存されます。

- プライマリ : ここに保存されているのは、デバイスの電源を投入するたび、またはリセットするたびにシステムが起動する ROMMON です。
- ゴールデン : ここに保存されている ROMMON はバックアップコピーです。プライマリ内の ROMMON が破損すると、ゴールデン SPI フラッシュデバイスの ROMMON が自動的に起動します。

ファームウェアの不具合を解決したり、新機能をサポートするには、ROMMON のアップグレードが必要になる場合がありますが、すべてのリリースに新しいバージョンが存在するとは限りません。

リリース	ROMMON バージョン (C9300 モデル)	ROMMON バージョン (C9300L モデル)	ROMMON バージョン (C9300X モデル)	ROMMON バージョン (C9300LM モデル)
Bengaluru 17.6.6a	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.6	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.5	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.4	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.3	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.2	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.6.1	17.6.1r[FC2]	17.8.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.5.1	17.5.2r	17.4.1r[FC2]	17.5.1r	-
Bengaluru 17.4.1	17.4.1r	17.4.1r[FC2]	-	-

リリース	ROMMON バージョン (C9300 モデル)	ROMMON バージョン (C9300L モデル)	ROMMON バージョン (C9300X モデル)	ROMMON バージョン (C9300LM モデル)
Amsterdam 17.3.8a	17.3.8r	17.8.1r[FC2]	-	-
Amsterdam 17.3.8	17.3.8r	17.8.1r[FC2]	-	-
Amsterdam 17.3.7	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.6	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.5	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.4	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.3	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.2a	17.3.2r	17.3.2r	-	-
Amsterdam 17.3.1	17.3.1r[FC2]	17.1.1r [FC1]	-	-
Amsterdam 17.2.1	17.2.1r[FC1]	17.1.1r[FC1]	-	-
Amsterdam 17.1.1	17.1.1r [FC1]	17.1.1r [FC1]	-	-

## スイッチ ソフトウェアのアップグレード

このセクションでは、デバイスソフトウェアのアップグレードとダウングレードに関するさまざまな側面について説明します。



- (注) Web UI を使用してデバイスソフトウェアをインストール、アップグレード、ダウングレードすることはできません。

## ソフトウェア バージョンの確認

Cisco IOS XE ソフトウェアのパッケージファイルは、システムボードのフラッシュデバイス (flash:) に保存されます。

**show version** 特権 EXEC コマンドを使用すると、スイッチで稼働しているソフトウェアバージョンを参照できます。



- (注) **show version** の出力にはスイッチで稼働しているソフトウェアイメージが常に表示されますが、最後に表示されるモデル名は工場出荷時の設定であり、ソフトウェアライセンスをアップグレードしても変更されません。

また、`dir filesystem:` 特権 EXEC コマンドを使用して、フラッシュ メモリに保存している可能性のある他のソフトウェア イメージのディレクトリ名を表示できます。

## ソフトウェア イメージ

リリース	イメージタイプ	ファイル名
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6a	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.06a.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.06a.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.06.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.06.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.5	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.05.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.05.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.04.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.04.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.3	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.03.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.03.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.02.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.02.SPA.
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1	CAT9K_IOSXE	cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.
	ペイロード暗号化なし (NPE)	cat9k_iosxe_npe.17.06.01.SPA.

## ROMMON のアップグレード

すべてのメジャーリリースとメンテナンスリリースに適用される ROMMON またはブートローダーのバージョンを確認するには、「[ROMMON バージョン \(28 ページ\)](#)」「`show`」「`dir`」を参照してください。

ソフトウェアバージョンをアップグレードする前または後に、ROMMON をアップグレードすることができます。アップグレード後のソフトウェアバージョンで新しい ROMMON バージョンが使用可能な場合は、以下のように実行します。

- プライマリ SPI フラッシュデバイスの ROMMON のアップグレード

この ROMMON は自動的にアップグレードされます。スイッチの既存のリリースからそれ以降のリリースに初めてアップグレードするときに、新しいリリースに新しい ROMMON バージョンがある場合は、スイッチのハードウェアバージョンに基づいてプライマリ SPI フラッシュデバイスの ROMMON が自動的にアップグレードされます。

- ゴールデン SPI フラッシュデバイスの ROMMON のアップグレード

この ROMMON は手動でアップグレードする必要があります。 **upgrade rom-monitor capsule golden switch** コマンドは特権 EXEC モードで入力します。



- (注)
- スイッチスタックの場合は、アクティブスイッチとスタックのすべてのメンバーでアップグレードを実行します。

ROMMON がアップグレードされると、次のリロード時に有効になります。その後以前のリリースに戻しても、ROMMON はダウングレードされません。更新後の ROMMON は以前のすべてのリリースをサポートします。

## ソフトウェアインストール コマンド

ソフトウェアインストール コマンドの概要	
Cisco IOS XE Everest 16.6.2 以降のリリースでサポートされています。	
指定したファイルをインストールしてアクティブ化し、リロード後も維持されるように変更をコミットするには、次のコマンドを実行します。	
<b>install add file filename [activate commit]</b>	
インストールファイルを個別にインストール、アクティブ化、コミット、中止、または削除するには、次のコマンドを実行します。 <b>install ?</b>	
<b>add file tftp:</b> <i>filename</i>	インストール ファイル パッケージをリモートロケーションからデバイスにコピーし、プラットフォームとイメージのバージョンの互換性チェックを実行します。
<b>activate</b> [ <b>auto-abort-timer</b> ]	ファイルをアクティブ化し、デバイスをリロードします。 <b>auto-abort-timer</b> キーワードがイメージのアクティブ化を自動的にロールバックします。
<b>commit</b>	リロード後も変更が持続されるようにします。
<b>rollback to committed</b>	最後にコミットしたバージョンに更新をロールバックします。
<b>abort</b>	ファイルのアクティブ化を中止し、現在のインストール手順の開始前に実行していたバージョンにロールバックします。
<b>remove</b>	未使用および非アクティブ状態のソフトウェア インストール ファイルを削除します。



- (注) **request platform software** コマンドは Cisco IOS XE ジブラルタル 16.10.1 以降では廃止されています。このコマンドは今回のリリースの CLI に表示され、設定可能ですが、アップグレードまたはダウングレードには **install** コマンドを使用することを推奨します。

request platform software コマンドの概要	
Device# <b>request platform software package ?</b>	
<b>clean</b>	メディアから不要なパッケージファイルを消去します。
<b>copy</b>	パッケージをメディアにコピーします。
<b>describe</b>	パッケージの内容を確認します。
<b>expand</b>	オールインワンパッケージをメディアに展開します。
<b>install</b>	パッケージをインストールします。
<b>uninstall</b>	パッケージをアンインストールします。
<b>verify</b>	In Service Software Upgrade (ISSU) ソフトウェアパッケージの互換性を確認します。

## インストール モードでのアップグレード

次の手順に従い、インストールモードで、あるリリースから別のリリースにアップグレードします。ソフトウェアイメージのアップグレードを実行するには、**boot flash:packages.conf** を使用して IOS を起動する必要があります。

### 始める前に

この手順は、次のアップグレードのシナリオで使用できます。

アップグレード前のリリース	使用するコマンド	アップグレード後のリリース
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a または Cisco IOS XE Everest 16.6.1	<b>request platform software</b> コマンドのみ	Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x
Cisco IOS XE Everest 16.6.2 以降のすべてのリリース	<b>install</b> コマンドまたは <b>request platform software</b> コマンドのどちらか。 <sup>6</sup>	

<sup>6</sup> **request platform software** コマンドは廃止されました。したがって、CLI には表示されたままになりますが、**install** コマンドを使用することを推奨します。

このセクションの出力例は、**install** コマンドのみを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 から Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 にアップグレードする場合のものです。

## 手順

### ステップ 1 クリーンアップ

#### **install remove inactive**

このコマンドを使用して、容量が不足している場合に古いインストールファイルをクリーンアップし、フラッシュに 1 GB 以上の領域を確保して、新しいイメージを展開します。

次の例は、**install remove inactive** コマンドを使用して未使用のファイルをクリーンアップした場合の出力を示しています。

```
Switch# install remove inactive

install_remove: START Mon Jul 19 19:51:48 PDT 2021
Cleaning up unnecessary package files
Scanning boot directory for packages ... done.
Preparing packages list to delete ...
  cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
    File is in use, will not delete.
  packages.conf
    File is in use, will not delete.
done.
The following files will be deleted:
[switch 1]:
/flash/cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
/flash/packages.conf
```

```
Do you want to remove the above files? [y/n]y
```

```
[switch 1]:
Deleting file flash:cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg ... done.
Deleting file flash:packages.conf ... done.
SUCCESS: Files deleted.
--- Starting Post_Remove_Cleanup ---
Performing Post_Remove_Cleanup on all members
[1] Post_Remove_Cleanup package(s) on switch 1
[1] Finished Post_Remove_Cleanup on switch 1
Checking status of Post_Remove_Cleanup on [1]
Post_Remove_Cleanup: Passed on [1]
Finished Post_Remove_Cleanup

SUCCESS: install_remove Mon Jul 19 19:52:25 PDT 2021
Switch#
<output truncated>
```

## ステップ2 新しいイメージをフラッシュにコピー

### a) **copy tftp:[[/location]/directory]/filenameflash:**

このコマンドを使用して、TFTP サーバからフラッシュメモリに新しいイメージをコピーします。**location** は、IP アドレスまたはホスト名です。ファイル名は、ファイル転送に使用されるディレクトリの相対パスで指定します。新しいイメージを TFTP サーバから使用する場合は、このステップをスキップしてください。

```
Switch# copy tftp://10.8.0.6/image/cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin flash:
destination filename [cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin]?
Accessing tftp://10.8.0.6/image/cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin...
Loading /cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin from 10.8.0.6 (via GigabitEthernet0/0):
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
[OK - 601216545 bytes]

601216545 bytes copied in 50.649 secs (11870255 bytes/sec)
```

### b) **dir flash:**

このコマンドを使用して、イメージがフラッシュに正常にコピーされたことを確認します。

```
Switch# dir flash:*.bin
Directory of flash:/*.bin

Directory of flash:/

434184 -rw- 601216545 Jul 19 2021 10:18:11 -07:00 cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin
11353194496 bytes total (8976625664 bytes free)
```

## ステップ3 ブート変数を設定

### a) **no boot system**

このコマンドを使用して、ブート変数をリセットします。このコマンドは、起動システム のイメージ指定を削除します。このコマンドを使用しない場合、スイッチは以前に設定さ れたブートイメージを起動する可能性があります。

```
Switch(config)# no boot system
```

b) **boot system flash:packages.conf**

このコマンドを使用して、ブート変数を **flash:packages.conf** に設定します。

```
Switch(config)# boot system flash:packages.conf
```

c) **no boot manual**

スイッチを自動ブートに設定するには、このコマンドを使用します。

```
Switch(config)# no boot manual
Switch(config)# exit
```

d) **write memory**

このコマンドを使用して、ブート設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

e) **show boot**

このコマンドを使用して、ブート変数 (packages.conf) と手動ブート設定 (no) を確認し ます。

```
Switch# show boot
Current Boot Variables:
BOOT variable = flash:packages.conf;

Boot Variables on next reload:
BOOT variable = flash:packages.conf;
Manual Boot = no
Enable Break = yes
Boot Mode = DEVICE
iPXE Timeout = 0
```

#### ステップ 4 イメージをフラッシュにインストール

##### **install add file activate commit**

このコマンドを使用して、イメージをインストールします。

イメージをフラッシュメモリにコピーした場合は、TFTP サーバ上のソースイメージまたはア クティブスイッチのフラッシュドライブをポイントすることを推奨します。メンバスイッチ (アクティブ以外のスイッチ) のフラッシュドライブまたは USB ドライブにあるイメージを 指定する場合、正確なフラッシュドライブまたは USB ドライブを指定しないとインストール に失敗します。たとえば、イメージがメンバスイッチ 3 のフラッシュドライブ (flash-3) にあ る場合、Switch# **install add file flash-3:cat9k\_iosxe.17.06.01.SPA.bin activate commit** の ように指定する必要があります。

次の例は、Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 ソフトウェアイメージをフラッシュメモリにインス トールした場合の出力を示しています。

```
Switch# install add file flash:cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin activate commit

install_add_activate_commit: START Mon Jul 19 15:37:20 PDT 2021
```

```
install_add_activate_commit: Adding PACKAGE
install_add_activate_commit: Checking whether new add is allowed ....

--- Starting initial file syncing ---
[2]: Copying flash:cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin from switch 2 to switch 1 3 4
[1 3 4]: Finished copying to switch 1 switch 3 switch 4
Info: Finished copying flash:cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.bin to the selected switch(es)
Finished initial file syncing

--- Starting Add ---
Performing Add on all members
  [1] Add package(s) on switch 1
  [1] Finished Add on switch 1
  [2] Add package(s) on switch 2
  [2] Finished Add on switch 2
  [3] Add package(s) on switch 3
  [3] Finished Add on switch 3
  [4] Add package(s) on switch 4
  [4] Finished Add on switch 4
Checking status of Add on [1 2 3 4]
Add: Passed on [1 2 3 4]
Finished Add

Image added. Version: 17.06.01
install_add_activate_commit: Activating PACKAGE
Following packages shall be activated:
/flash/cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
--- Starting Activate ---
Performing Activate on all members
  [1] Activate package(s) on switch 1
    --- Starting list of software package changes ---
    Old files list:
      Removed cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
      Removed cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
    New files list:
      Added cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
      Added cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
```

```
Finished list of software package changes
[1] Finished Activate on switch 1
[2] Activate package(s) on switch 2
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
New files list:
  Added cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[2] Finished Activate on switch 2
[3] Activate package(s) on switch 3
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
New files list:
  Added cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
  Added cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[3] Finished Activate on switch 3
[4] Activate package(s) on switch 4
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
```

```

Removed cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
Removed cat9k-sipspsa.17.05.01.SPA.pkg
Removed cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
Removed cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
Removed cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
New files list:
Added cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-espsbase.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipspsa.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
Added cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[4] Finished Activate on switch 4
Checking status of Activate on [1 2 3 4]
Activate: Passed on [1 2 3 4]
Finished Activate

--- Starting Commit ---
Performing Commit on all members
[1] Commit package(s) on switch 1
[1] Finished Commit on switch 1
[2] Commit package(s) on switch 2
[2] Finished Commit on switch 2
[3] Commit package(s) on switch 3
[3] Finished Commit on switch 3
[4] Commit package(s) on switch 4
[4] Finished Commit on switch 4
Checking status of Commit on [1 2 3 4]
Commit: Passed on [1 2 3 4]
Finished Commit

Send model notification for install_add_activate_commit before reload
[1 2 3 4]: Performing Upgrade_Service

*Jul 19 15:47:28.095: %IOSXEBOOT-4-BOOTLOADER_UPGRADE: (local/local): Starting boot
preupgrade
300+0 records in
300+0 records out
307200 bytes (307 kB, 300 KiB) copied, 0.315817 s, 973 kB/s

AppGigabitEthernet port has the latest Firmware

MM [1] MCU version 191 sw ver 196
MM [2] MCU version 191 sw ver 196

Front-end Microcode IMG MGR: found 4 microcode images for 1 device.
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_0 update needed: no
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_1 update needed: yes
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_2 update needed: yes
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_3 update needed: no
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device microcode...
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=0 ...594412 bytes....
Skipped[0].
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=1 ...440976 bytes.
Front-end Microcode IMG MGR: Programming device 0...rwRrrrrrrw..
0%.....10%
.....20%
.....30%
```

```

.....40%
.....50%
.....60%
.....70%
.....80%
.....90%
.....100%
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=2 ...24506 bytes.
Front-end Microcode IMG MGR: Programming device
0...rrrrrrw..0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%w
Waiting for MCU to come up .....Rr!
Front-end Microcode IMG MGR: Microcode programming complete for device 0.
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=3 ...90974 bytes...
Skipped[3].
Front-end Microcode IMG MGR: Microcode programming complete in 298 seconds

MCU UPGRADE COMPLETED!!... SUCCESS: Upgrade_Service finished
Install will reload the system now!
SUCCESS: install_add_activate_commit Mon Jul 19 15:52:33 PDT 2021
Switch#
Chassis 2 reloading, reason - Reload command
Jul 19 15:52:36.588: %PMAN-5-EXITACTION: F0/0: pvp: Process manager is exiting: reload
fp action requested
Jul 19 15:52:38.199: %PMAN-5-EXITACTION: R0/0: pvp: Process manager is exiting: rp
processes exit with reload switch code

Initializing Hardware.....

System Bootstrap, Version 17.3.1r[FC2], RELEASE SOFTWARE (P)
Compiled Wed 04/29/2021 12:55:25.08 by rel

Current ROMMON image : Primary
Last reset cause      : SoftwareReload
C9300-48P platform with 8388608 Kbytes of main memory

Preparing to autoboot. [Press Ctrl-C to interrupt] 0
boot: attempting to boot from [flash:packages.conf]
boot: reading file packages.conf
#####
#####

Waiting for 120 seconds for other switches to boot
#####
Switch number is 2
<output truncated>

```

(注) **install add file activate commit** コマンドを実行した後に、システムは自動的にリロードします。システムを手動でリロードする必要はありません。

## ステップ5 インストールを確認

ソフトウェアのインストールが正常に完了したら、**dir flash:** コマンドを使用して、フラッシュパーティションに 10 個の新しい .pkg ファイルと 2 つの .conf ファイルがあることを確認します。

### a) **dir flash:\*.pkg**

次に、**dir flash:\*.pkg** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# dir flash:*.pkg

Directory of flash:/
75140 -rw- 2012104   Mar 17 2021 09:52:41 -07:00 cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
475141 -rw- 70333380  Mar 17 2021 09:52:44 -07:00 cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
475142 -rw- 13256     Mar 17 2021 09:52:44 -07:00 cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
475143 -rw- 349635524  Mar 17 2021 09:52:54 -07:00 cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
475149 -rw- 24248187  Mar 17 2021 09:53:02 -07:00 cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
475144 -rw- 25285572  Mar 17 2021 09:52:55 -07:00 cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
475145 -rw- 20947908  Mar 17 2021 09:52:55 -07:00 cat9k-sipspace.17.05.01.SPA.pkg
475146 -rw- 2962372   Mar 17 2021 09:52:56 -07:00 cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
475147 -rw- 13284288  Mar 17 2021 09:52:56 -07:00 cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
475148 -rw- 13248     Mar 17 2021 09:52:56 -07:00 cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg

491524 -rw- 25711568  Jul 19 2021 11:49:33 -07:00 cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
491525 -rw- 78484428  Jul 19 2021 11:49:35 -07:00 cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
491526 -rw- 1598412   Jul 19 2021 11:49:35 -07:00 cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
491527 -rw- 404153288  Jul 19 2021 11:49:47 -07:00 cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
491533 -rw- 31657374    Jul 19 2021 11:50:09 -07:00 cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
491528 -rw- 27681740   Jul 19 2021 11:49:48 -07:00 cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
491529 -rw- 52224968  Jul 19 2021 11:49:49 -07:00 cat9k-sipspace.17.06.01.SPA.pkg
491530 -rw- 31130572  Jul 19 2021 11:49:50 -07:00 cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
491531 -rw- 14783432  Jul 19 2021 11:49:51 -07:00 cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
491532 -rw- 9160     Jul 19 2021 11:49:51 -07:00 cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg

11353194496 bytes total (9544245248 bytes free)
Switch#
```

#### b) dir flash:\*.conf

次に、**dir flash:\*.conf** コマンドの出力例を示します。フラッシュパーティションの2つの.conf ファイルが表示されています。

- packages.conf : 新しくインストールした .pkg ファイルに書き換えられたファイル
- cat9k\_iosxe.17.06.01.SPA.conf : 新しくインストールした packages.conf ファイルのバックアップコピー

```
Switch# dir flash:*.conf

Directory of flash:/*.conf
Directory of flash:/

434197 -rw- 7406 Jul 19 2021 10:59:16 -07:00 packages.conf
516098 -rw- 7406 Jul 19 2021 10:58:08 -07:00 cat9k_iosxe.17.06.01.SPA.conf
11353194496 bytes total (8963174400 bytes free)
```

## ステップ 6 show version

イメージが起動したら、このコマンドを使用して新しいイメージのバージョンを確認します。

次の **show version** コマンドの出力例では、デバイスの Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 イメージの情報が表示されています。

```
Switch# show version
Cisco IOS XE Software, Version 17.06.01
Cisco IOS Software [Bengaluru], Catalyst L3 Switch Software (CAT9K_IOSXE), Version 17.6.1,
RELEASE SOFTWARE (fcl)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
```

Copyright (c) 1986-2021 by Cisco Systems, Inc.  
<output truncated>

## インストールモードでのダウングレード

ここでは、あるリリースから別のリリースにインストールモードでダウングレードする手順を示します。ソフトウェアイメージのダウングレードを実行するには、**boot flash:packages.conf** を使用して IOS を起動する必要があります。

### 始める前に

この手順は、次のダウングレードのシナリオで使用できます。

ダウングレード前のリリース	使用するコマンド	ダウングレード後のリリース
Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x	<b>install</b> コマンドまたは <b>request platform software</b> コマンドのどちらか。 <sup>7</sup>	Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x 以前のリリース

<sup>7</sup> **request platform software** コマンドは廃止されました。したがって、CLI には表示されたままになりますが、**install** コマンドを使用することを推奨します。



- (注) あるリリースを搭載して新しく導入されたスイッチモデルをダウングレードすることはできません。新しいスイッチモデルが最初に搭載して導入されたリリースが、そのモデルの最小ソフトウェアバージョンです。

このセクションの出力例は、**install** コマンドを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 から Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 にダウングレードする場合のものです。

### マイクロコードのダウングレードの前提条件：

Cisco IOS XE Gibraltar 16.12.1 以降では、本シリーズの UPOE スイッチ (C9300-24U、C9300-48U、C9300-24UX、C9300-48UXM、C9300-48UN) で IEEE 802.3bt タイプ 3 標準規格をサポートするために新しいマイクロコードが導入されています。新しいマイクロコードには、一部のリリースとの下位互換性はありません。そのため、それらのリリースのいずれかにダウングレードする場合はマイクロコードもダウングレードする必要があります。マイクロコードのダウングレードを実行しないと、ダウングレード後の PoE の機能に影響します。

ダウングレード後のリリースとダウングレードに使用するコマンドに応じて、実行する必要があるアクションを次の表で確認してください。

ダウングレード前のリリース	ダウングレード後のリリース	使用するコマンド	マイクロコードのダウングレードのアクション

Cisco IOS XE Gibraltar 16.12.1 またはそれ以降 のリリース	Cisco IOS XE Everest 16.6.1 ~ Cisco IOS XE Everest 16.6.6  Cisco IOS XE Fuji 16.9.1 ~ Cisco IOS XE Fuji 16.9.2	<b>install</b> コマンド	マイクロコードはソフトウェアのインストールの一部として自動的にロールバックされます。これ以上の操作は不要です。
		<b>request platform software</b> コマンド またはバンドルブート	ソフトウェアイメージをダウングレードする前に、手動でマイクロコードをダウングレードします。  マイクロコードをダウングレードするには、グローバル コンフィギュレーション モードで <b>hw-module mcu rollback</b> コマンドを入力します。

## 手順

## ステップ1 クリーンアップ

**install remove inactive**

このコマンドを使用して、容量が不足している場合に古いインストールファイルをクリーンアップし、フラッシュに 1 GB 以上の領域を確保して、新しいイメージを展開します。

次の例は、**install remove inactive** コマンドを使用して未使用のファイルをクリーンアップした場合の出力を示しています。

```
Switch# install remove inactive

install_remove: START Mon Jul 19 19:51:48 PDT 2021
Cleaning up unnecessary package files
Scanning boot directory for packages ... done.
  Preparing packages list to delete ...
    cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-espbase.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-guestshell.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-rpbase.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-rpboot.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-sipbase.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-sipspace.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-srdriver.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-webui.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k-wlc.17.06.01.SSA.pkg
      File is in use, will not delete.
  packages.conf
    File is in use, will not delete.
done.
```

```
SUCCESS: No extra package or provisioning files found on media. Nothing to clean.
SUCCESS: install_remove Mon Jul 19 11:42:39 PDT 2021
```

## ステップ2 新しいイメージをフラッシュにコピー

### a) **copy tftp:[[/location]/directory]/filenameflash:**

このコマンドを使用して、TFTP サーバからフラッシュメモリに新しいイメージをコピーします。**location** は、IP アドレスまたはホスト名です。ファイル名は、ファイル転送に使用されるディレクトリの相対パスで指定します。新しいイメージを TFTP サーバから使用する場合は、このステップをスキップしてください。

```
Switch# copy tftp://10.8.0.6/image/cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin flash:
Destination filename [cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin]?
Accessing tftp://10.8.0.6//cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin...
Loading /cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin from 10.8.0.6 (via GigabitEthernet0/0):
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
[OK - 508584771 bytes]
508584771 bytes copied in 101.005 secs (5035244 bytes/sec)
```

### b) **dir flash:**

このコマンドを使用して、イメージがフラッシュに正常にコピーされたことを確認します。

```
Switch# dir flash:*.bin
Directory of flash:/*.bin

Directory of flash:/

434184 -rw- 508584771 Jul 19 2021 13:35:16 -07:00 cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin
11353194496 bytes total (9055866880 bytes free)
```

## ステップ3 ブート変数を設定

### a) **boot system flash:packages.conf**

このコマンドを使用して、ブート変数を **flash:packages.conf** に設定します。

```
Switch(config)# boot system flash:packages.conf
```

### b) **no boot manual**

スイッチを自動ブートに設定するには、このコマンドを使用します。

```
Switch(config)# no boot manual
Switch(config)# exit
```

### c) **write memory**

このコマンドを使用して、ブート設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

### d) **show boot**

このコマンドを使用して、ブート変数 (packages.conf) と手動ブート設定 (no) を確認します。

```
Switch# show boot
Current Boot Variables:
BOOT variable = flash:packages.conf;

Boot Variables on next reload:
BOOT variable = flash:packages.conf;
Manual Boot = no
Enable Break = yes
Boot Mode = DEVICE
iPXE Timeout = 0
```

#### ステップ4 ソフトウェアイメージをダウングレード

##### install add file activate commit

このコマンドを使用して、イメージをインストールします。

イメージをフラッシュメモリにコピーした場合は、TFTP サーバ上のソースイメージまたはアクティブスイッチのフラッシュドライブをポイントすることを推奨します。メンバスイッチ（アクティブ以外のスイッチ）のフラッシュドライブまたは USB ドライブにあるイメージを指定する場合、正確なフラッシュドライブまたは USB ドライブを指定しないとインストールに失敗します。たとえば、イメージがメンバスイッチ3のフラッシュドライブ（flash-3）にある場合、Switch# **install add file flash-3:cat9k\_iosxe.17.05.01.SPA.bin activate commit** のように指定する必要があります。

次の例では、**install add file activate commit** コマンドを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 ソフトウェアイメージをフラッシュにインストールしています。

```
Switch# install add file flash:cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin activate commit
install_add_activate_commit: START Mon Jul 19 14:59:46 PDT 2021
install_add_activate_commit: Adding PACKAGE
install_add_activate_commit: Checking whether new add is allowed ....

--- Starting initial file syncing ---
[1]: Copying flash:cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin from switch 1 to switch 2 3 4
[2 3 4]: Finished copying to switch 2 switch 3 switch 4
Info: Finished copying flash:cat9k_iosxe.17.05.01.SPA.bin to the selected switch(es)
Finished initial file syncing

--- Starting Add ---
Performing Add on all members
^[A [1] Add package(s) on switch 1
  [1] Finished Add on switch 1
  [2] Add package(s) on switch 2
  [2] Finished Add on switch 2
  [3] Add package(s) on switch 3
  [3] Finished Add on switch 3
  [4] Add package(s) on switch 4
  [4] Finished Add on switch 4
Checking status of Add on [1 2 3 4]
Add: Passed on [1 2 3 4]
Finished Add

Image added. Version: 17.05.01.0.306
install_add_activate_commit: Activating PACKAGE
Following packages shall be activated:
/flash/cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipsa.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
```

```
/flash/cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
--- Starting Activate ---
Performing Activate on all members
[1] Activate package(s) on switch 1
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
New files list:
  Added cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[1] Finished Activate on switch 1
[2] Activate package(s) on switch 2
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
  Removed cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
New files list:
  Added cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[2] Finished Activate on switch 2
[3] Activate package(s) on switch 3
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
```

```

Removed cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
New files list:
Added cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[3] Finished Activate on switch 3
[4] Activate package(s) on switch 4
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
Removed cat9k-cc_srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-espbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-guestshell.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-lni.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-rpbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-rpboot.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-sipbase.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-sipspa.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-srdriver.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-webui.17.06.01.SPA.pkg
Removed cat9k-wlc.17.06.01.SPA.pkg
New files list:
Added cat9k-cc_srdriver.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-espbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-guestshell.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipbase.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-sipspa.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-webui.17.05.01.SPA.pkg
Added cat9k-wlc.17.05.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[4] Finished Activate on switch 4
Checking status of Activate on [1 2 3 4]
Activate: Passed on [1 2 3 4]
Finished Activate

--- Starting Commit ---
Performing Commit on all members
[1] Commit package(s) on switch 1
[1] Finished Commit on switch 1
[2] Commit package(s) on switch 2
[2] Finished Commit on switch 2
[3] Commit package(s) on switch 3
[3] Finished Commit on switch 3
[4] Commit package(s) on switch 4

```

```

[4] Finished Commit on switch 4
Checking status of Commit on [1 2 3 4]
Commit: Passed on [1 2 3 4]
Finished Commit

Send model notification for install_add_activate_commit before reload
[1 2 3 4]: Performing Upgrade_Service
300+0 records in
300+0 records out
307200 bytes (307 kB, 300 KiB) copied, 0.316195 s, 972 kB/s
MM [1] MCU version 196 sw ver 191
MM [2] MCU version 196 sw ver 191

MCU UPGRADE IN PROGRESS... PLEASE DO NOT POWER CYCLE!!

Front-end Microcode IMG MGR: found 4 microcode images for 1 device.
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_0 update needed: no
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_1 update needed: yes
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_2 update needed: yes
Image for front-end 0: /tmp/microcode_update/front_end/fe_type_6_3 update needed: no

Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device microcode...
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=0 ...594412 bytes....
Skipped[0].
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=1 ...440688 bytes.
Front-end Microcode IMG MGR: Programming device 0...rwRrrrrrrw
..0%.....10%
.....20%
.....30%
.....40%
.....50%
.....60%
.....70%
.....80%
.....90%
.....100%

Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=2 ...24506 bytes.
Front-end Microcode IMG MGR: Programming device
0...rrrrrrw..0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%w
Wating for MCU to come up ....Rr!
Front-end Microcode IMG MGR: Microcode programming complete for device 0.
Front-end Microcode IMG MGR: Preparing to program device[0], index=3 ...90974 bytes....
Skipped[3].
Front-end Microcode IMG MGR: Microcode programming complete in 295 seconds

MCU UPGRADE COMPLETED!!... SUCCESS: Upgrade_Service finished

Install will reload the system now!
SUCCESS: install_add_activate_commit Mon Jul 19 15:14:57 PDT 2021
stack-4mnyq#
Chassis 1 reloading, reason - Reload command
Jul 20 15:15:01.382: %PMAN-5-EXITACTION: F0/0: pvp: Process manager is exiting: reload
fp action requested
Jul 20 15:15:03.101: %PMAN-5-EXITACTION: R0/0: pvp: Process manager is exiting: rp

```

```

processes exit with reload switch code

Initializing Hardware.....

System Bootstrap, Version 17.3.1r[FC2], RELEASE SOFTWARE (P)
Compiled Wed 03/17/2021 12:55:25.08 by rel

Current ROMMON image : Primary
Last reset cause      : SoftwareReload
C9300-24UX platform with 8388608 Kbytes of main memory

switch: boot
boot: attempting to boot from [flash:packages.conf]
boot: reading file packages.conf
#
#####
#####
#####

Waiting for 120 seconds for other switches to boot
Switch is in STRAGGLER mode, waiting for active Switch to boot
Active Switch has booted up, starting discovery phase

Switch number is 1
All switches in the stack have been discovered. Accelerating discovery

Switch console is now available

Press RETURN to get started.

```

(注) **install add file activate commit** コマンドを実行した後に、システムは自動的にリロードします。システムを手動でリロードする必要はありません。

## ステップ5 バージョンの確認

### show version

イメージが起動したら、このコマンドを使用して新しいイメージのバージョンを確認します。

(注) ソフトウェアイメージをダウングレードしても、ROMMONのバージョンは自動的にダウングレードされません。更新された状態のままになります。

次の **show version** コマンドの出力例では、デバイスの Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 イメージの情報が表示されています。

```

Switch# show version
Cisco IOS XE Software, Version 17.05.01
Cisco IOS Software [Bengaluru], Catalyst L3 Switch Software (CAT9K_IOSXE), Version 17.5.1,
RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2021 by Cisco Systems, Inc.
<output truncated>

```

## フィールドプログラマブル ゲート アレイのバージョンのアップグレード

フィールドプログラマブルゲートアレイ (FPGA) は、シスコスイッチ上に存在するプログラマブル メモリ デバイスの一種です。これらは、特定の専用機能の作成を可能にする再設定可能な論理回路です。

現在の FPGA バージョンを確認するには、ROMMON モードで **version -v** コマンドを入力します。



- (注)
- すべてのソフトウェアリリースで FPGA のバージョンが変更されるわけではありません。
  - バージョンの変更は、通常のソフトウェアアップグレードの一部として行われ、他に追加の手順を実行する必要はありません。

## ライセンス

このセクションでは、Cisco Catalyst 9000 シリーズ スイッチで使用可能な機能のライセンスパッケージについて説明します。

### ライセンスレベル

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ で使用可能なソフトウェア機能は、次のように、基本またはアドオンのライセンスレベルに分類されます。

#### 基本ライセンス

- Network Essentials
- Network Advantage : Network Essentials ライセンスで使用可能な機能と追加機能が含まれません。

#### アドオン ライセンス

アドオンライセンスには、前提条件として Network Essentials または Network Advantage が必要です。アドオンライセンスレベルでは、スイッチだけでなく Cisco Digital Network Architecture Center (Cisco DNA Center) でもシスコのイノベーションとなる機能を得られます。

- DNA Essentials
- DNA Advantage : DNA Essentials ライセンスで使用可能な機能と追加機能が含まれます。

プラットフォームサポートに関する情報を検出し、機能を使用できるライセンスレベルを確認するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfmng.cisco.com> に進みます。cisco.com のアカウントは必要ありません。

## 使用可能なライセンスモデルと構成情報

- Cisco IOS XE Fuji 16.8.x 以前：RTU ライセンスがデフォルトであり、ライセンスを管理するためにサポートされている唯一の方法です。
- Cisco IOS XE Fuji 16.9.1 ～ Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.1：スマートライセンスがデフォルトであり、ライセンスを管理するためにサポートされている唯一の方法です。  
必要なリリースの [ソフトウェア コンフィギュレーションガイド](#) で、「**System Management**」 → 「**Configuring Smart Licensing**」を参照してください。
- Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2a 以降：ポリシーを使用したスマートライセンス（スマートライセンスの拡張バージョン）がデフォルトであり、ライセンスを管理するためにサポートされている唯一の方法です。  
必要なリリース（17.3.x以降）の [ソフトウェア コンフィギュレーションガイド](#) で、「**System Management**」 → 「**Smart Licensing Using Policy**」を参照してください。

シスコ ライセンスの詳細については、[cisco.com/go/licensingguide](https://cisco.com/go/licensingguide) を参照してください。

## ライセンスレベル：使用上のガイドライン

- 購入したライセンスが有効な期間

ポリシーを使用したスマートライセンス	スマートライセンス
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 永久：このライセンスは使用期限日はありません。</li> <li>• サブスクリプション：ライセンスは特定の日付まで有効です。（3年、5年、または7年の期間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 永久：ライセンスレベル、有効期限なし。</li> <li>• 有効期間付き：ライセンスレベル、3年、5年、または7年の期間。</li> <li>• 評価：登録されていないライセンス。</li> </ul>

- 基本ライセンス（Network Essentials および Network-Advantage）の注文および履行は、無期限または永久ライセンスタイプのみとなります。
- アドオンライセンス（DNA Essentials および DNA Advantage）の注文および履行は、サブスクリプションまたは有効期間付きライセンスタイプのみとなります。
- ネットワーク ライセンス レベルを選択した場合はアドオンライセンスレベルが含まれています。DNA の機能を使用する場合は、有効期限が切れる前にライセンスを更新して引き続き使用するか、アドオンライセンスを非アクティブ化してからスイッチをリロードして基本ライセンス機能での運用を継続します。
- 基本ライセンスとともにアドオンライセンスを購入する場合、許可されている組み合わせと、許可されていない組み合わせに注意してください。

表 4: 許可されている組み合わせ

	DNA Essentials	DNA Advantage
--	----------------	---------------

Network Essentials	対応	非対応
Network Advantage	可 <sup>8</sup>	可

<sup>8</sup> この組み合わせは DNA ライセンスの更新時にのみ購入できます。DNA-Essentials の初回購入時には購入できません。

- 評価ライセンスを注文することはできません。これらのライセンスは Cisco Smart Software Manager で追跡されず、90 日で期限切れになります。評価ライセンスはスイッチで一度だけ使用でき、再生成することはできません。評価ライセンスが期限切れになると、その後 275 日間は毎日警告システムメッセージが生成され、それ以降は毎週生成されます。リロード後に、有効期限の切れた評価ライセンスを再度アクティベートすることはできません。これはスマートライセンスにのみ適用されます。評価ライセンスの概念は、ポリシーを使用したスマートライセンスには適用されません。

## スケーリングのガイドライン

機能スケーリングのガイドラインについては、次の場所にある Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチのデータシートを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-9300-series-switches/datasheet-c78-738977.html>

## 制限事項と制約事項

- コントロールプレーンポリシング (CoPP) : `system-cpp policy` で設定されたクラスがデフォルト値のままの場合、それらのクラスに関する情報は `show run` コマンドで表示されません。代わりに、特権 EXEC モードで `show policy-map system-cpp-policy` または `show policy-map control-plane` コマンドを使用してください。
- Cisco TrustSec の制約事項 : Cisco TrustSec は物理インターフェイスでのみ設定でき、論理インターフェイスでは設定できません。
- Flexible NetFlow の制限事項
  - イーサネット管理ポート (GigabitEthernet0/0) を使用して NetFlow エクスポートを設定することはできません。
  - レイヤ2 ポートチャネル、ループバック、トンネルなどの論理インターフェイスにフローモニタを設定することはできません。
  - 同じインターフェイスの同じ方向について、同じタイプ (IPv4、IPv6、またはデータリンク) のフローモニタを複数設定することはできません。
- ハードウェアの制限事項 : 光モジュール :

- SFP-10G-T-Xは、ピアデバイスとの自動ネゴシエーションに基づいて100Mbps/1G/10Gの速度をサポートします。10Mbpsの速度はサポートされておらず、トランシーバから速度設定を強制することはできません。
  - PHY ループバックテストは SFP-10G-TX ではサポートされていません。
- QoS の制約事項
- QoS キューイングポリシーを設定する際は、キューイングバッファの合計が 100% を超えないようにしてください。
  - 論理インターフェイスで QoS ポリシーがサポートされるのは、スイッチ仮想インターフェイス (SVI) のみです。
  - ポートチャネルインターフェイス、トンネルインターフェイス、およびその他の論理インターフェイスでは QoS ポリシーはサポートされません。
  - スタックキューイングおよびスケジューリング (SQS) は、1.4 Gbps を超える CPU バウンドパケットをドロップします。
- セキュア シェル (SSH)
- SSH バージョン 2 を使用してください。SSH バージョン 1 はサポートされていません。
  - SCP および SSH の暗号化操作の実行中は、SCP の読み取りプロセスが完了するまで、デバイスの CPU が高くなることが想定されます。SCP は、ネットワーク上のホスト間でのファイル転送をサポートしており、転送に SSH を使用します。
- SCP および SSH の操作は現在はハードウェア暗号化エンジンでサポートされていないため、暗号化と復号化のプロセスがソフトウェアで実行されることで CPU が高くなります。SCP および SSH のプロセスによる CPU 使用率が 40 ~ 50% になる場合がありますが、デバイスがシャットダウンされることはありません。
- ポリシーを使用したスマートライセンス : Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2a 以降、ポリシーを使用したスマートライセンスの導入により、製品インスタンスまたはデバイスのホスト名を設定しても、Unique Device Identifier (UDI) のみが表示されます。この表示の変更は、以前のリリースでホスト名が表示されていたすべてのライセンスユーティリティとユーザーインターフェイスで確認できます。これにより何らかのライセンス機能が影響を受けることはありません。この制限に対する回避策はありません。
- この制限の影響を受けるライセンスユーティリティとユーザーインターフェイスには、Cisco Smart Software Manager (CSSM)、Cisco Smart License Utility (CSLU)、Smart Software Manager On-Prem (SSM On-Prem) のみが含まれます。
- スタック構成 :
- 最大 8 つのスタックメンバでスイッチスタックを構成できます。
  - 同種スタック構成のみサポートされ、混合スタック構成はサポートされていません。

C9300 SKU は、他の C9300 SKU とのみスタックできます。同様に、C9300L SKU は他の C9300L SKU とのみスタックできます。

次の追加の制限は、シリーズの 9300-24UB、C9300-24UXB、および C9300-48UB モデルに適用されます。これらのモデル同士でのみスタックすることができます。他の C9300 SKU とスタックすることはできません。

- 新しいメンバスイッチの自動アップグレードは、インストールモードでのみサポートされます。
- TACACS レガシーコマンド：レガシー **tacacs-server host** コマンドを設定しないでください。このコマンドは廃止されました。デバイス上で実行されているソフトウェアバージョンが Cisco IOS XE Gibraltar 16.12.2 以降のリリースである場合、レガシーコマンドを使用すると認証が失敗する可能性があります。グローバル コンフィギュレーション モードで **tacacs server** コマンドを使用します。
- USB の認証：Cisco USB ドライブをスイッチに接続すると、既存の暗号化事前共有キーでドライブの認証が試行されます。USB ドライブからは認証用のキーが送信されないため、**password encryption aes** コマンドを入力するとコンソールに次のメッセージが表示されます。

```
Device(config)# password encryption aes
Master key change notification called without new or old key
```
- MACsec は、ソフトウェア デファインド アクセスの展開ではサポートされていません。
- VLAN の制限：スイッチの設定時にデータと音声ドメインを定義し、スイッチスタック全体で音声 VLAN とは異なるデータ VLAN を維持するには、明確に定義された分離を行うことをお勧めします。1つのインターフェイス上のデータと音声ドメインに対して同じ VLAN が設定されている場合、CPU 使用率が高くなり、デバイスが影響を受ける可能性があります。
- 有線 Application Visibility and Control の制限事項：
  - NBAR2 (QoS およびプロトコル検出) 設定は有線物理ポートでのみ許可されます。たとえば、VLAN、ポートチャネル、および他の論理インターフェイスなどの仮想インターフェイスではサポートされていません。
  - NBAR2 ベースの一致基準「match protocol」は、マーキングアクションおよびポリシングアクションでのみ許可されます。NBAR2 一致基準は、キューイング機能が設定されているポリシーでは許可されません。
  - 「一致プロトコル」：すべてのポリシーで最大 256 の同時に異なるプロトコル。
  - NBAR2 と従来の NetFlow は同じインターフェイスで同時に設定できません。ただし、NBAR2 と有線 AVC Flexible NetFlow は同じインターフェイスで同時に設定できます。
  - IPv4 ユニキャスト (TCP/UDP) のみがサポートされます。
  - AVC は管理ポート (Gig 0/0) ではサポートされません。

- NBAR2 の接続は、物理アクセスポートでのみ実行する必要があります。アップリンクは、単一のアップリンクであり、ポートチャネルの一部でなければ接続できません。
- パフォーマンス：各スイッチメンバは、50% 未満の CPU 使用率で、1 秒あたり 2000 の接続 (CPS) を処理できます。このレートを超える AVC サービスは保証されません。
- 拡張性：48 個のアクセスポートと 24 個のアクセスポートごとに最大 20000 の双方向フローを処理できます。
- YANG データモデリングの制限事項：サポートされる NETCONF の最大同時セッション数は 20 セッションです。
- Embedded Event Manager：ID イベントディテクタは、Embedded Event Manager ではサポートされていません。
- 次の条件では、利用可能な電力が十分にある場合でも、スタック上のどのスイッチにも電力が共有されません。
  - PoE 可用性が 32W 以下の 30W システム。
  - PoE 可用性が 62W 以下の 60W システム。
  - PoE 可用性が 92W 以下の 90W システム。
- ファイルシステムチェック (fsck) ユーティリティは、インストールモードではサポートされません。
- 電源装置の再装着後、電源装置のインデックス値 (ciscoEnvMonSupplyStatusIndex) が変更されます。

## 不具合

警告では、Cisco IOS-XE リリースでの予期しない動作について説明します。以前のリリースでオープンになっている警告は、オープンまたは解決済みとして次のリリースに引き継がれません。

## Cisco Bug Search Tool

Cisco [Bug Search Tool](#) (BST) を使用すると、パートナーとお客様は製品、リリース、キーワードに基づいてソフトウェアバグを検索し、バグ詳細、製品、バージョンなどの主要データを集約することができます。BST は、ネットワーク リスク管理およびデバイスのトラブルシューティングにおいて効率性を向上させるように設計されています。このツールでは、クレデンシャルに基づいてバグをフィルタし、検索入力に関する外部および内部のバグビューを提供することもできます。

問題の詳細を表示するには、ID をクリックします。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.x の未解決の問題

ID	説明
<a href="#">CSCvw99523</a>	C9300 のリングスタック電源での動的電力バジェットネゴシエーションに時間がかかりすぎる

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6a で解決済みの問題

ID	説明
<a href="#">CSCwh87343</a>	Cisco IOS XE ソフトウェアの Web UI における特権昇格の脆弱性 詳細については、セキュリティアドバイザリ： <a href="#">cisco-sa-iosxe-webui-privesc-j22SaA4z</a> [英語] を参照してください。

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.6 で解決済みの問題

ID	説明
<a href="#">CSCwd56049</a>	一部の C9300 mGig スイッチが特定の 100 Mbit エンドデバイスと完全にリンクしない
<a href="#">CSCwd28734</a>	pubd の Cat9k メモリリークにより、スイッチがリロードされる
<a href="#">CSCwd78924</a>	Cat9300 : 30W を要求する PD で PoE Imax エラーが検出される (クラス 4 PD 以外)
<a href="#">CSCwe09745</a>	リモートピアへの接続を継続的に試行すると、Pubd でメモリリークが発生する
<a href="#">CSCwe18993</a>	C9300-24P/48P シリーズのスイッチに接続された PoE デバイスが電力を失い、「ダウン」状態のままになる
<a href="#">CSCwe54047</a>	スタンドアロンとして起動された C9300X で、ASIC 間トラフィックフロー間のパケット損失が観察される
<a href="#">CSCwe95691</a>	PnP   Cat9k が IP 送信元アドレス 0.0.0.0 ではなく 192.168.1.1 を使用して DHCP 検出を送信する
<a href="#">CSCwe36743</a>	セグメンテーション障害 - クラッシュ - SSH - AAA グループ設定の変更時

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.5 の解決済みの不具合

ID	説明
<a href="#">CSCwc29733</a>	GLC-SX-MMD を使用した C9300L アップリンクが起動しない

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 の解決済みの不具合

ID	説明
<a href="#">CSCwc88452</a>	C9300-48UN IOS バージョン 17.6.3 で hw-module breakout コマンドが機能しない
<a href="#">CSCwd17488</a>	スタンバイ電源コードの OIR 後も Cat9300 スタックポートがダウンしたまま
<a href="#">CSCwd39377</a>	アップグレード後に BGP タイマーがサポートされない
<a href="#">CSCwd39892</a>	17.2.1 リリース後に「no ip dhcp exclude-address」が機能しない
<a href="#">CSCwd23435</a>	SFP-10G-T-X 銅線トランシーバーを搭載した C9300X で、OIR 後に 1G の速度でランダムなパケット損失が発生する
<a href="#">CSCwd99665</a>	C9300L-48UXG-4X : debug_logging_file への過剰なロギングによる TMPFS リーク

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 の解決済みの不具合

ID	説明
<a href="#">CSCwa85199</a>	Smart Licensing Agent による高い CPU 使用率とメモリ使用率
<a href="#">CSCwa93776</a>	「no mdix auto」が設定されている場合、e9300-mGig スイッチに接続されたいくつかの IP 電話がリンクアップできない
<a href="#">CSCwb11032</a>	Cat9300 : snmp get/set では整数値が変更されない
<a href="#">CSCwb18988</a>	「snmp-server host xxx」コマンドに一部の通知タイプが表示されない

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.3 の解決済みの不具合

ID	説明
<a href="#">CSCvx95005</a>	xFSU-C9300L、17.3.x から 17.6.1 への xFSU が失敗し、スイッチで通常のアップグレードトラフィックが200 秒間ダウンする
<a href="#">CSCvy08148</a>	冗長スイッチが電源を切った後、マルチキャストパケットが2回複製される
<a href="#">CSCvy74900</a>	HTTP CORE プロセスでの予期しないリロード
<a href="#">CSCvz51752</a>	ISE から複数のタブを使用して COA をプッシュすると、ランダムに CTS が適用されない
<a href="#">CSCvz60442</a>	VLAN インターフェイスから IP ヘルパーアドレスを削除できない
<a href="#">CSCvz85562</a>	SFP-10/25G-CSR-S で 25G の C9300 と C9500 の間でリンクがアップしない

ID	説明
<a href="#">CSCvz89443</a>	BinOS : PM でのイベントの挿入/削除時の chasfs_ctx_int_t による linux_iosd-imag_rp_0 メモリ リーク
<a href="#">CSCwa07035</a>	ラインカードはトラフィックの転送を停止する
<a href="#">CSCwa10331</a>	ピア Intel NIC I219 に接続すると、Cat9300-48UX ポートがリンクアップしないことがある
<a href="#">CSCwa17969</a>	Cat9k   ip helper-address global が実行されていない場合、スタンバイの予期しないリロードが発生する
<a href="#">CSCwa57656</a>	C9300 Rcv-Err カウンタは、2960 ポートに接続すると増加し続ける
<a href="#">CSCwa67012</a>	ip igmp snooping querier の削除時にエラーが表示される
<a href="#">CSCwa67435</a>	chasync.sh の btrace loggign が多すぎると、スイッチのスタックで TMPFS が枯渇する

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.2 で解決済みの問題

ID	説明
<a href="#">CSCvy40384</a>	Cat9300L : リロード後に 1G SFP アップリンクが稼働しない
<a href="#">CSCvy98214</a>	Flexlink+ プリエンプトが正常に機能せず、トラフィックがダウンする

## Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.1 の解決済みの不具合

次の問題はこのリリースで解決済みです。

## トラブルシューティング

トラブルシューティングの最新の詳細情報については、次の URL にある Cisco TAC Web サイトを参照してください。

<https://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

[Product Support] に移動し、リストから製品を選択するか、製品の名前を入力します。発生している問題に関する情報を見つけるには、[Troubleshoot and Alerts] を参照してください。

## 関連資料

Cisco IOS XE に関する情報は、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/c/en/us/products/ios-nx-os-software/ios-xe/index.html>

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ のすべてのサポートドキュメントは、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/catalyst-9300-series-switches/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Validated Designs ドキュメントは、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/go/designzone>

選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。  
<http://www.cisco.com/go/mibs>

## 通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services](#) [英語] にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support](#) [英語] にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

### シスコバグ検索ツール

[Cisco バグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

---

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。